

ご意見用紙

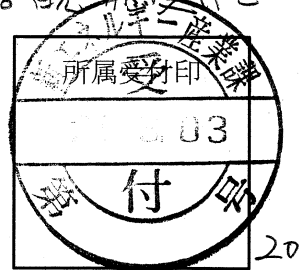
玄海原子力発電所に関する県民説明会

※この用紙は、記入後エントランスホールの回収箱にご投入ください。
 ※本日、回収箱への投入が難しい場合は、裏面記載の県内各地に設置しています県政提案箱にご投函いただくことも可能です。

* なお、ご記入の前に裏面の〈お願い〉をお読みください。

テーマ	★該当する項目をチェックしてください（複数選択可）。 <input type="checkbox"/> エネルギー政策に関すること <input type="checkbox"/> 原子力安全対策に関すること <input type="checkbox"/> 原子力災害対策に関すること <input type="checkbox"/> その他
新規制規準によっていけば福島の事故は起らなかった... と言えるのでしょうか？未だ収束していない福島の状態を見ていると、 強化されたといえども事故は起るのではないか？との不安は 残ります。また、規準が仮定の上立っている以上、どんなに強化し たとしても、予想だにしないことが起れば事故になるでしょうし、もと めと、事故というのは、そういうふうにおこるものでよね。原発の場合、交通 事故とは比べものにならないくらい「大変な事故」になりますよね。大きな不 安を残したまま稼働させることは、県民の安全最優先という言葉と矛盾 していませんか？「安全ですな」「安全ですな」と言われてもその根拠が机上 の数値だけでは信用できません。こんなままで適合審査に通ったとい って、県民に説明したといって、国策だからといって稼働させてはたまりません。 会場は空席が多く、これで説明と言っても県民の何割か聞いた（説明を受けた） と判断されるのだろうか？十分な県民に知らせたとは言えないと思いませんか？	
会場名に○をつけてください → 唐津・武雄・佐賀・伊万里・ 鳥栖	

説明を受けたから稼働について理解したと判断されると困ります。説明を受けて



まあまあ、原子力発電の危険と「ます」は安全確保とい
 ながら稼働をゴリ押ししようとする力の強さを感じました。